

NF 通信

ice arther



Vol.31

column

01

専門家コラム

西村医院 小児科医師 瀧上 佐智子さん



今年も桜の季節がやってきました。桜を見るとなぜがとても幸せな気持ちになるのは私だけでしょうか。

「初桜 折しもけふは 能日(よきひ)なり」 松尾芭蕉
今年初の桜が咲いたなあ。折しも今日は良い日になったものだ。



4月からピカピカの幼稚園児、小学一年生になるお友達おめでとうございます。新しい幼稚園や小学校、初めてのお友達や先生にワクワクしたりドキドキしたり、初めてって皆んな緊張しますよね。これはお父さんやお母さんも同じだと思います。ちゃんとできるか、うちの子だけ出来ないのではないかと不安と焦りがあるのではないのでしょうか。もう3歳なんだから一人で着替えができなきゃ困る、皆んなと同じように登校できなきゃいけないなど頑張らせてしまう事もあるのではないのでしょうか？

世の中はおおむね多数の普通を基準に動いているし、おおむね多数に近づけるように力を入れる事が多いと思います。でも実際は色々な子どもがいます。「ふつう」や「みんなと同じ」枠に入らない子どもたちも沢山います。その子達を無理やり頑張らせて「みんなと同じ」にさせようとするのは子供にとってとても苦しい事なんです。

我が子ができないことに会った時、叱ったり頑張らせるのではなく、99.99%オトナが手伝ってあげて出来た！出来る！という体験を味合わせてあげてください。これは決して甘やかしているわけではありません。自然にできるまで何も手助けしないで様子を見る事でもありません。出来るようになるまでしっかり寄り添ってあげてほしいのです。自分も出来るんだという自信を子ども達に経験させてあげましょう。

寄り添ってあげる(アタッチメント)がしっかり出来ていれば、子ども達はきっと勝手にすーっとお友達の中に溶け込む事ができるでしょう。登園登校を嫌がったら一緒に登園登校してください。お着替えに時間がかかったら、どんどん助けてあげましょう。新しい生活が安心できるまでよろしく願います。

column

02

NFリレーコラム

鈴木 大樹さん

あと少しで息子は一歳の誕生日を迎えます。育児休業中の毎日があっという間に過ぎてしまい、日々の大切さを痛感しています。最近、家族で芝生のある公園によく出かけます。最初は、広げたレジャーシートから出ようとはしませんでした。少しずつ芝生へとはいはいで進むようになりました。

また数秒なら直立もできるようになったので、裸足の裏で芝生や土を感じていると思います。今の時期は落ち葉にも興味を示しています。たくさんの自然を思い切り感じてもらいたいですね。これからも家族でのお出かけを続けていきたいと思っています。いつか芝生を歩いてみたいね。

